

Study ²⁰²⁶ Abroad

GUIDE TO STUDY ABROAD PROGRAM
FACULTY OF ECONOMICS, HOSEI UNIVERSITY

CANADA BROCK UNIVERSITY



UNITED KINGDOM THE UNIVERSITY OF SHEFFIELD



THE UNITED STATES OF AMERICA UNIVERSITY OF CALIFORNIA DAVIS



学部長から皆さんへ

FROM THE DEAN



世界に触れて、 自分の成長を加速させよう

25年以上の歴史が支える「本物」の体験

経済学部のSA（スタディ・アブロード）プログラムは、四半世紀を超える歴史を積み重ねてきた、経済学部が誇る伝統あるプログラムです。一時期はコロナ禍の影響を受けましたが、一昨年度からはイギリス・シェフィールド大学への留学も再開し、現在は従来通りの充実した体制に戻っています。所定の費用は必要となりますが、単位認定により卒業時期を遅らせることなく、4年間の在学期間中に本格的な海外経験を手にできる点が大きな魅力です。

「知る」だけでなく「感じる」留学へ

SNSを通じて世界中の情報が瞬時に手に入る現代において、私たちはつい「世界を知っている」と錯覚しがちです。しかし、画面越しに見る映像やデータと、実際にその地に立って目にする光景や肌で感じる空気には、言葉にできないほど大きな隔たりがあります。わずか4ヶ月の現地生活かもしれませんが、そこには旅行では決して出会うことのできない発見に満ち溢れています。現地の大学で学び、ホストファミリーとの共同生活を通じて異文化に触れ、現地のコミュニティへと一歩踏み込む。こうした経験を通じて築かれる全く新しい人間関係や、多様な価値観との衝突は、皆さんのこれまでの常識を快く打ち破ってくれることでしょうか。そうした体験は、これからの長い人生において、計り知れないほど大きな違いとなって表れるはずです。

帰国後、新しい自分に出会う

このSAプログラムは、単なる数ヶ月の海外滞在ではなく、約1年間にわたる長期的な成長プロセスとして設計されています。1年次の秋学期に行われる留学準備講座に始まり、2年次春学期の実践的な留学、そして帰国後のレポート提出やフォローアップ講座、さらには自らの体験を言語化する帰国報告会でのプレゼンテーションへと続きます。このプロセスを終えたとき、皆さんは以前とは違う自分に気づくはずで、大きく広がった視野の先に、「もっと英語を自在に操れるようになりたい」「さらに専門的な知識を深めたい」、あるいは「将来は海外で学んだり、働きたい」といった、未来を切り拓くための新たな目標を手に入れていることでしょうか。

挑戦する皆さんを応援します

特に、コロナ禍という制限の多い時期に中高生時代を過ごした皆さんにとって、再び開かれた「世界」とリアルに接することは、間違いなく大きな刺激になります。世界は再び、皆さんのすぐ近くにあります。この先の自分を成長させるきっかけとして、ぜひSAプログラムへの一歩を踏み出してください。皆さんの挑戦を、心から応援しています。

2026年4月 法政大学経済学部長 竹口圭輔



【1】スタディ・アブロード (SA) プログラム

OVERVIEW OF THE STUDY ABROAD PROGRAM

経済学部スタディ・アブロード (SA) プログラムとは、学生が2年次の春学期に、アメリカのカリフォルニア大学デイビス校国際トレーニング & 教育センター、カナダのブロック大学英語教育センター、イギリスのシェフィールド大学英語教育センターで開講される英語の授業を履修する選択制のプログラムです。

1. スタディ・アブロード (SA) の目的

経済学部 SA プログラムは、英語の集中的な学習によって実用能力に磨きをかけ、英語を通して留学先の文化、社会等の講義科目を学び、さらにホームステイ (※) やキャンパスライフなどの日常生活経験によって、異文化理解を深めることを目指すプログラムです。留学先で出会う外国人の教員や友人たちとの交流で、国際経済人としてのマナーとルールを身につけ、自立の精神を養い、グローバル化の著しい世界に向かって、日本の立場から説得力のあるメッセージを発信する能力を養うことが期待されます。そこで学んだことが就職や進学に結びつき、将来の可能性を大きく広げるものであることを願ってやみません。若い時代の留学で得られるみずみずしい生活体験、学習体験は、生涯にわたって大きな影響を持つものです。直接的な異文化体験、カルチャーショックなども、それらを積極的に捉え大切に反芻することによって精神の財産となり、物事を真に批判的に見る目が養われ、日本の文化や社会、経済あるいは人間のあり方をより客観的に見られるように、また評価し直す契機ともなるでしょう。SA が参加学生の人間の成長を促す貴重な心の糧となることも、もう一つの目的なのです。

(※) SA プログラムは、原則ホームステイでの滞在です。

2. プログラム概要

SA の授業はいずれも留学先大学の外国人講師により英語で行われます。授業は集中的な英語の学習プログラムに、その国の文化・社会等の講義を折りまぜて構成されます。

- 留学時期：2年次春学期の約4ヶ月間
- 留学資格：
 - (a) 健康であること
 - (b) 1年次終了までに1年次配当必修科目（外国語・入門ゼミ・スポーツ総合・専門必修）の単位を修得していること（未修得の場合は原則留学できません）
 - (c) 2年次に進級する見込みであること
- 募集人数：60～100名程度
（国際経済学科40～60名、経済学科・現代ビジネス学科20～40名）
- 希望者が派遣を予定している人数を超える場合は、留学先大学との交渉により、留学者数を増やすこともあります。
（選抜方法に関しては、【4】応募時期・選抜方法、【5】SA 留学先大学の決定についてを参照）
- その他注意事項：
 - ① 希望者が派遣を予定している人数より極端に少ない場合は、留学先大学を減らす可能性があります。
 - ② **ガイダンス、留学準備講座の出席率が低い学生や参加態度、提出物の状況が芳しくない学生については留学を取り消す場合があります。**その際、その時点までにすでに発生している費用についてはお支払いいただくこととなります。
また、SA 留学中に生活面・留学態度において、学生の本分を逸脱する行為があった時は SA 留学を中止し、強制帰国となる可能性があります。その場合の帰国にかかる費用は自己負担となり、留学費用の返還は一切行いません。

3. 単位認定

留学先で修得した単位は、本学の単位に換算して16単位を上限に認定します。留学準備講座は、1年次のSA事前指導として1単位（専門・選択）の履修登録となります。また、SA研究レポート・フォローアップ講座等は、2年次のSA事後指導として1単位（専門・選択）の成績評価の対象となります。

※ 成績不良、出席率の悪い学生は単位認定を出来ません。

帰国後の単位認定について

次の科目は帰国後、認定可能な経済学部の科目です。科目は自由に組み合わせて申請できます。

外国語科目

〈国際経済学科〉

- | | |
|---------------------------------|--|
| ・英語必修科目（各1単位） | ・英語選択必修科目（各1単位、上限2単位） |
| Reading and Interaction 1A・B | Workplace English A・B |
| Writing and Interaction 1A・B | Academic Reading and Interaction A・B |
| Listening and Presentation 1A・B | Academic Writing and Interaction A・B |
| Reading and Interaction 2A・B | Academic Listening and Interaction A・B |
| Writing and Interaction 2A・B | Modern Novel A・B |
| Listening and Presentation 2A・B | TOEFL and IELTS Preparation A・B |
| | TOEIC Preparation A・B |
| | Media English A・B |

〈経済学科〉〈現代ビジネス学科〉

- | | |
|--------------------------------|--|
| ・英語必修科目（各1単位） | ・英語選択科目（各1単位、上限2単位） |
| Reading and Interaction A・B | Workplace English A・B |
| Listening and Presentation A・B | Academic Reading and Interaction A・B |
| Writing and Interaction A・B | Academic Writing and Interaction A・B |
| | Academic Listening and Interaction A・B |
| | Modern Novel A・B |
| | TOEFL and IELTS Preparation A・B |
| | TOEIC Preparation A・B |
| | Media English A・B |

総合教育科目

スタディ・アブロード（総合）Ⅰ～Ⅲ（各2単位）

専門教育科目

スタディ・アブロード（専門）Ⅰ～Ⅲ（各2単位）（選択科目）

4. プログラムの運営について

経済学部SAプログラムは、法政大学と留学先大学との間で締結されている協定に基づき、経済学部が留学先大学（附属機関）と直接やり取りの上、入学手続きのサポートを行っています。一方、ビザ／電子渡航認証取得や航空券手配、海外旅行保険の申込等の各種渡航サポート及び出発前の現地危機管理情報の入手については、法政大学が国内旅行代理店に業務委託する形で運営されます。

そのため、SAプログラムの留学先大学（附属機関）における授業料やホームステイ費等の現地費用については、すべて留学先大学からの請求に基づき参加学生に請求され、本学における手数料は一切かかりません。また、旅行代理店へのサポート費用（業務委託料）は、参加者が負担する航空券等旅行代金の中に一部含まれます。

従いまして、SAプログラムに申込み後、参加辞退が発生する場合は、留学先大学ならびに旅行代理店の規程にもとづき、キャンセル料が申込者本人に対して請求されることとなります。



[2] SA スケジュール

SCHEDULE

■ 1 年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① SA 説明会					③ 合否発表・留学先の決定							
	② SA 応募申請				④ パスポート取得・更新							
						⑪ SA費用振込(申込金)				⑫ SA 費用振込(プログラム費用)		
					⑤ 留学準備講座及びガイダンス					⑫ 出国		
					⑥ 渡航・旅券に関する諸説明						←	
					⑦ 帰国報告会・英語プレゼン							
					⑧ TOEIC®-IP 試験							
					⑨ ビザ／電子渡航認証取得方法説明会 ⇒⑩ ビザ／電子渡航認証取得							

■ 2 年次

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑫ 出国											
⑬ 中間報告書(月次)の提出											
				⑭ 帰国							
					⑮ SA研究レポート・フォローアップ講座・帰国報告会・英語プレゼン						

※上記の日程はすべて予定であり、変更となる可能性があります。

① SA 説明会 (1 年次春学期)

SA についての全体的な説明会です。参加希望者は必ず参加してください。

② SA 応募申請 (1 年次 5 月頃 (予定))

応募期間であり、原則的にこれ以降の募集はありません。

③ 合否発表・留学先の決定 (1 年次 9 月下旬)

希望登録を受け、経済学部が最終的に合格者と留学先を決定します。

④ パスポート取得・更新 (1 年次 9・10 月)

渡航に有効なパスポートを各自で取得・更新します。パスポートにかかる費用は各自の負担になります。

⑤ 留学準備講座及び SA ガイダンス (1 年次秋学期)

SA 出発前の 1 年次に留学準備講座及びガイダンスを実施します。留学準備講座では、各留学先に分かれて、各国出身のネイティブ講師による英語の授業を受講します。ガイダンスでは、渡航手続き説明など留学までのステップをサポートしていきます。どちらも出席は義務です。出席状況や参加態度、提出物の状況が芳しくない学生については、留学が取り消されることがあります。

⑥ 渡航・旅券に関する諸説明、留学先入学許可申請等の登録指導

留学先決定後、渡航・旅券について旅行代理店による説明や、各大学への入学申請とホームステイ申込みについての説明・指導を行います。

⑦ 帰国報告会・帰国生 SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーション（1 年次 10～12 月頃）

SA 帰国生の帰国報告会と SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーションに参加します。先輩の SA の成果に触れて、モチベーションを高めてください。

⑧ TOEIC®-IP 試験（1 年次・2 年次 10・11 月）

出発前と帰国後に TOEIC®-IP を受験し、プログラム参加によりどれだけ英語力が向上したかを測ります。

⑨ ビザ／電子渡航認証取得方法説明（1 年次 10・11 月）

ビザ／電子渡航認証取得のためには各種証明書（英文残高証明書など）を各自で用意することになります。国によって必要な書類は異なり、準備に時間がかかる場合がありますので各自注意が必要です。提出時期、提出方法等についてはガイダンスを通じて指示します。

⑩ ビザ／電子渡航認証取得（1 年次 11～2 月）

旅行代理店のサポートを受けながらビザ／電子渡航認証を取得します（ガイダンスにて取得方法をご案内します）。

⑪ SA 費用振込（1 年次 10 月・2～3 月（予定））

1 年次 10 月に申込金、2～3 月頃にプログラム費用（渡航費、ビザ申請料、保険料、授業料、ホームステイ費用等）の通知・振込みを予定しています。

⑫ 出国＜SA 開始＞（1 年次 3 月～2 年次 4 月）

※出国日は留学先によって異なります。

現地学校のプログラムにあわせ、例年 1 年次の 3 月から、留学先大学ごとにまとめて出国します。なお、SA プログラムは法政大学の授業の一環であり、単独での出国は認められません。

⑬ 中間報告書（月次）の提出

毎月、現地での学習状況や SA 研究レポートの作成状況についての報告書をメールで提出します。

⑭ 帰国（2 年次 8～9 月）

※帰国日は留学先によって異なります。

現地学校のプログラムにあわせ、2 年次の 8 月から、留学先大学ごとにまとめて帰国します。なお、SA プログラムは法政大学の授業の一環であり、単独での帰国は認められません。

⑮ SA 事後指導（2 年次 9～12 月）

- ・ SA 研究レポート：SA プログラムの集大成として、帰国後に SA 研究レポートを提出します。
- ・ フォローアップ講座：各留学先に分かれて、現地で身につけたスピーキング力やファシリテーション能力、プレゼンスキル等を活かし、様々なトピックを討議し、話し合い、理解を深めます。
- ・ 帰国報告会：SA プログラム参加者全員が英語でプレゼンテーションを行います。
- ・ SA 研究レポート優秀者が英語でプレゼンテーションを行い、現地で学んできた学習成果・生活等を発表します。



[3] SA 費用について

EXPENSES

(1) 費用内訳

次年度の費用は為替変動や留学先大学の授業料の変更等で増減する可能性があります。

なお、留学期間中の法政大学への学費の減免はありません。

以下の費用は、経済学部 2025 年度留学生の SA 費用です。

留学先	授業料 宿泊代等	航空券 ビザ・保険等	留学準備講座
アメリカ	USD 13,185.00	¥386,045	¥10,000
カナダ	CAD 16,576.65	¥236,070	¥10,000
イギリス	GBP 10,568.00	¥295,170	¥10,000

(2) スケジュール、支払方法

旅行代理店の渡航・ビザに関するサポート費用（業務委託料等）は、SA 合格後の 10 月に申込金として請求されます。その後、現地授業料、宿泊費、留学準備講座費用、往復の渡航費、ビザ／電子渡航認証取得費用、海外旅行保険料等の費用は、1 年次の 2～3 月頃に保証人宛てに提示し、お支払いいただく予定です。なお、支払方法についての詳細は、別途お知らせします。

(3) 「経済学部 SA 奨学金」について（給付型）

経済学部独自の奨学金制度です。

金額：旅費総額（現地授業料、宿泊費含む）の 30%程度（最大）

人数：42 名程度（最大）

なお、募集に関しては SA への参加決定者を対象に 1 年次の 10 月頃に応募受付を行います。

※給付金額と採用予定人数は変更となる可能性があります。

(4) キャンセルについて

SA 費用のうち、参加申し込み後の 10 月以降は、留学前でも旅行代理店へのサポート費用（業務委託料等）及びビザ／電子渡航認証取得費用が発生します。また、1 年次 1 月以降、万一個人のやむを得ない事情により SA 参加を辞退する場合、または教授会により SA プログラムの取り止めが決定した場合、旅行代理店及び現地機関の規程によるキャンセル料に加え、返金にかかる手数料、それに伴う為替差損などが発生することがあります。航空券についても早い段階からキャンセル料が発生するケースがあります。これらのキャンセルにかかる費用は、各自の負担となります。





【4】 応募時期・選抜方法

SELECTION

例年、1年次春学期に説明会を行い応募期間を設けます。原則として1年次春学期の成績（GPA・TOEIC®-IP試験の結果等）を中心に選抜を行います。



【5】 SA 留学先大学の決定について

ANNOUNCEMENT OF APPLICATION RESULTS

留学先大学の受け入れ人数に制限があるため、以下の方法により、留学先を決定します。

- (1) 留学先大学についての希望順位を登録します。そのうえで成績を参考にし、法政大学が留学先を調整します。
- (2) (1) の成績とは、1年次春学期の成績（GPA・単位修得状況等）及び入学前（3月）のオンラインTOEIC®-IP試験の結果とします。
- (3) 人数の調整が行われた結果、費用の高い大学に振り分けられる場合があります。

なお、希望登録から決定までのスケジュールは、【2】SAスケジュールに記した通りです。また、一度決定した留学先の変更は理由の如何を問わず一切できません。



【6】 外国語能力検定について

TOEIC®-IP

SA参加者は、留学前と留学後にTOEIC®-IPの受験が義務付けられています。



【7】 渡航（出国・帰国）について

FLIGHT TICKETS

渡航のための航空券は、法政大学が旅行代理店を通じて用意します。





【8】各留学先の紹介

INTRODUCTION OF EACH STUDY ABROAD



【アメリカ】UNIVERSITY OF CALIFORNIA, DAVIS

フロンティア精神の地・西海岸でアメリカを体感

住所：(463 California Avenue Suite 1130) One Shields Ave,
Davis, California 95616

Web：http://www.ucdavis.edu/



① 受け入れ機関

カリフォルニア大学デイビス校
(UC Davis Division of Continuing and
Professional Education-International)

② 大学および周辺の紹介

カリフォルニア大学群のひとつとして 1905 年に開校されました。当初は農学部のみでしたが、年々拡大の一途を辿り、大規模大学へと変身を遂げました。今日でも農学の分野は全米でも高い評価を得ています。また、エスニック研究も盛んで、デイビス校の大きな魅力のひとつとなっています。キャンパスも非常に広大で教室間の移動には自転車を利用する学生が多く、スケールの大きいキャンパスライフを楽しめます。

デイビス市はサンフランシスコから約 100 キロ北東の位置にあり、人口は約 5 万人、フレンドリーで気さくな治安の良い大学の町です。町中には自転車専用道路が数多くあり、キャンパス以外でも自転車は最も便利な交通手段です。地中海性の温暖な気候のため、外国人留学生にも人気のある町です。

③ 特色 (予定)

プログラム内容は予定のため、変更となる可能性があります。15 週間を通して Academic Engagement Track (AET) を受講します。AET では語学授業とその他講義授業を並行して行います。語学授業については、渡米前にプレースメントテストを受け、語学レベル別に応講します。その他講義授業では、SDGs やアメリカ文化・社会などについて学びます。また、希望者は UC Davis の起業をサポートする Student Startup Center での起業関連のワークショップ等に無料で参加することも可能です。

④ 留学期間

3 月下旬～ 8 月上旬 (予定)

⑤ 宿泊施設

ホームステイ

⑥ 参加費用

P.6 参照



【時間割】 Academic Engagement Track (AET) Sample Schedule

M-F	Section 1	Section 2	Section 3
9:00-9:50	Intercultural Communication Skills	Understanding Society through Social Media	Academic Literacy Series
10:00-10:50	Academic Literacy Series	Intercultural Communication Skills	Sustainable Development Goals
10:50-11:10	Break		Break
11:10-12:00	Sustainable Development Goals	Academic Literacy Series	Understanding Society through Social Media
12:10-1:00	Understanding Society through Social Media	Sustainable Development Goals	Intercultural Communication Skills

※上記はあくまで時間割の一例です。

後輩へのメッセージ▶▶▶ SA24 期生 中村 虎太郎

私が SA を通じて感じたことは、学びだけでなく多様な文化や価値観に触れることが最大の魅力ということです。最初は英語での授業や会話に戸惑うかもしれませんが、間違いを恐れず積極的に話すことが上達の近道です。また、日本とは違う考え方や習慣に驚くこともあります。相手を尊重しながら自分の意見を伝える姿勢が大切です。勉強だけでなく、クラブ活動やボランティアにも参加してみてください。現地の友人ができることで、視野がぐっと広がります。自分は近くに公園があり、そこでサッカーをしていました。はじめは一人でしたが、勇気を出して現地の人に話しかけ、一緒にプレーをすることができました。今では、日本に帰っても連絡するほど仲良くなることもできました。困ったときは一人で抱え込まず、先生や留学生仲間と相談することも忘れずに。留学は挑戦の連続ですが、その分、自分の成長を強く実感できる貴重な経験になります。





【カナダ】 BROCK UNIVERSITY

雄大な自然の中での先進的な学び

住所：500 Glenridge Avenue, St. Catharines, Ontario,
Canada L2S 3A1

Web：http://www.brocku.ca/



① 受け入れ機関

ブロック大学 (Brock University ESL Services)

② 大学および周辺の紹介

ブロック大学の名称は、イギリス陸軍の将軍であり、イギリスの植民地であったアップパー・カナダの統治者「アイザック・ブロック」にちなんでつけられています。大学の創立は1964年と比較的新しいですが、州立大学として地域の高等教育において大きな役割を果たしています。

オンタリオ州トロントとニューヨーク州パツファローの中間に位置するセントキャサリンズは、トロント市内へ車で約60分、世界的な観光名所として有名なナイアガラの滝まで車で30分ほどの距離にあります。ワインの里としても有名であり、カナダ随一の温室産業の基地ということで美しい公園や沢山の温室があるため、ガーデンシティとも呼ばれています。またスキー場も近く、ゴルフコースも多いのでスポーツも楽しめます。大学は総合大学で、アスレチックセンターや図書館は地域の住民にも開放されています。

③ 特色 (予定) プログラム内容は予定のため、変更となる可能性があります。

本プログラムでは約13週間の Intensive English Language Program (IELP) と約6週間の Intensive Business English Program (IBEP) を受講します。

IELPでは月曜日から金曜日まで1日5時間リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングを学び、IBEPでは、今日のビジネス業界において必要不可欠な語学スキルを学習します。

④ 留学期間

4月中旬～8月下旬 (予定)

⑤ 宿泊施設

ホームステイ

⑥ 参加費用

P.6 参照



【講義の例】 Hosei University Business English Program

April 12	13 First Day of Program 9am-10am Registration, Abbreviated Orientation, Textbook & Bus Pass Distribution, GLB 104 10am-12 noon Class, GLB 119 12 noon-1pm Lunch, GLB 104 (provided) 1pm-2pm Campus Tour, meet in GLB 104	14 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Tour of Walker Complex, followed by Brock University Scavenger Hunt, meet PA at 12:45 in GLB 104 to walk over to Walker Complex Welcome Desk	15 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-2pm Tour & presentation Brock LINC, intro to Makerspace, meet PA at 12:45 in GLB 104 to walk over to Rankin Family Pavilion room 302 *Bring laptop or smart phone for activity	16 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Workshop: Focus On Business Vocabulary GLB 118	17 9am-12pm Project Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Ping pong/ Board Game Cafe	18
April 19 Free Time	April 20 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Guest Speaker Emily Rollo, Brock Career Readiness Competencies, GLB 119	21 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Tour of Canada Games Park facility and presentation about its use in the community including Brock FIT centre; meet PA at 1:45 in GLB 104 to walk over together	22 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Workshop: Focus on Business Grammar & Usage, GLB 119	23 9am-12pm Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Scavenger Hike Glenridge Quarry Naturalization Site Meet PA outside GLB 104	24 9am-12pm Project Class 12pm-1pm Lunch 1pm-3pm Workshop: Focus On Business Law, GLB 119	25 Free Time

※上記はあくまで時間割の一例です。

先輩へのメッセージ▶▶▶ SA24期生 臼井 杏純

今回のSA留学への参加は、私にとって人生の財産となる貴重な経験でした。もともと異文化交流に興味がありながら英語が苦手な私にとって、応募時に高い英語力を問われないSAプログラムはとてありがたい機会でした。

実際にカナダに行ったら、当然最初からうまくコミュニケーションを取ることができず、ホストファミリーに迷惑をかけてしまうこともありました。しかし、その度に自分の英語力の乏しさを痛感し学習意欲が一層高まりました。その後留学中に旅行に行った際に現地の人々との会話が弾んだときは、自分の成長を感じられとても嬉しかったです。

また、様々な国の学生と交流し、現地でできた友人に自国の料理をふるまってもらうなど、忘れられない思い出もたくさんできました。

カナダは人々が温かく、異文化にとっても寛容な国です。最初は英語を流暢に話せなくても、伝えようとする気持ちが心を通わせてくれます。ぜひ一歩踏み出し、英会話の楽しさと異国の価値観に触れる喜びを体験してほしいです。





【イギリス】 THE UNIVERSITY OF SHEFFIELD

シェイクスピアの国で学ぶ正統英語

住 所 : 3 Solly Street, Sheffield S1 4DE

W e b : <http://www.shef.ac.uk/>



① 受け入れ機関

シェフィールド大学
(English Language Teaching Centre (ELTC))

② 大学および周辺の紹介

シェフィールド大学はその歴史的伝統においても、また現在の学生数や施設の点においても英国で十指に入る名門大学です。同大学は 1905 年に地域貢献を目指して医学、工学などの高等教育機関が前身となって設立されました。現在は文学・社会科学・法律・建設・地学・工学・医学学などの学部、大学院からなる総合大学です。

また、シェフィールド大学のあるシェフィールド市はロンドンから約 200 キロ北西に位置し、人口は約 70 万人(全英で 5 番目)の都市です。かつての産業革命の発祥地で、鉄鋼・金属工業等の産業都市として発展してきました。市内は公園や森林に富み、郊外の美しい田園地帯の先には、18 世紀初頭以来山岳風景で名高い、ピークディストリクト国立公園があり、環境の良いことでも有名です。

③ 特色 (予定) プログラム内容は予定のため、変更となる可能性があります。

本プログラムは、午前中に University English program に参加し、Integrated Language Skills (リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング、文法、ボキャブラリー) を学びます。

留学期間のうち前半は、午後には Visiting Students Program (VSP) に参加し Media/Culture/Sociology/Literature 等の幅広い講義を受講します。後半は、Social English, Speaking and Pronunciation, Academic Skills, IELTS Practice, Business English 等の講義を受講します。

④ 留学期間

4 月中旬～ 8 月上旬 (予定)

⑤ 宿泊施設

ホームステイ

⑥ 参加費用

P.6 参照



【講義の例】

Time	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
09:30 ~ 11:00	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
11:30 ~ 13:00	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
14:00 ~ 15:30	*VSP Lecture Media	*VSP Lecture Culture	UE Lecture - general topics (14:00 ~ 15:00)	*VSP Lecture Sociology	*VSP Lecture Literature
14:00 ~ 15:30 During Term 4 (ISS)	Option class or Business English	Option class or Business English	UE Lecture - general topics (14:00 ~ 15:00)	Option class or Business English	Free

Class sizes will not exceed 16 students (except for lectures).

* This is an example timetable of VSP lectures only, and the timings might change depending on the lecturer's availability.

※上記はあくまで時間割の一例です。

後輩へのメッセージ▶▶▶ SA24 期生 佐伯 恵太

SA プログラムは、自分を変えたいと思う方や大学生活で何かをやりたいという方にとってもおすすめできるプログラムです。私にとって今回の留学は、自分を変えるきっかけになりました。初めての海外、初めてのホストファミリー、初めてのことであれば最初はとても不安でした。英語に関しても初めは自信がなく、いつも緊張してうまく話せませんでした。しかし、この四か月を通して英語が完璧でなくても自分が知っている単語だけでも自信をもって意思を伝えることが大切だと学びました。

私はサッカーが好きなので放課後アクティビティに参加しました。サッカーを通しての会話は英語の成長だけでなく、人と関わるという面でも成長することができました。シェフィールド大学ではこのように授業以外でも英語を使う機会がたくさんあります。SA プログラムで得たものは英語力だけではなく、精一杯楽しむことが一番重要です。自信をもって貴重な海外経験を楽しんでください!!





【9】ホームステイについて

HOMESTAY

ホームステイ先はホテルではありません。ホストファミリーの義務は「住居と食事を提供すること」であり、あなたをお客様として扱うことでも、あなたの語学の勉強の手伝いをするということでもありません。また、人種も多岐にわたり、**食事も冷凍食品や日本と比べてとても質素な場合が大半であるため、過度な期待は禁物です。**シャワーや洗濯の習慣も、日本と大きく違います。**「お金を払っているんだから」という意識は捨て、理想と異なる部分も「異文化経験＝留学の醍醐味の一つ」と捉えましょう。**

日本は、先進国の中でもトップレベルの生活インフラを備えています。清潔な水も温かいお湯も容易に手に入り、電気やWi-Fi通信で困ることもほとんどありません。食事の種類や味も多様な選択肢があり、安価です。治安水準も高く、同一の文化圏に属する住民が比較的多いため、文化的な摩擦も限られています。世界の国々では、先進国であっても、こういった快適な環境が整っているわけではありません。留学の目的は、ただ語学を学ぶことではありません。自分が今いる快適な生活圏を離れて、多様な生活環境の中で摩擦を経験し、その中で生き抜く力を学ぶ、という目的もあります。

事前の心構えをするうえで、ホームステイに関する情報を収集してください。

(参考例) Blossa「ホームステイの理想と現実!? ホームステイを成功させる秘訣」

<http://blossa.org/blog/homestay-fantasy>



【10】サポート体制、問い合わせ先

INSURANCE & CONTACT INFORMATION

法政大学ではSAに参加する学生全員に、大学が指定した海外旅行保険への加入を義務づけています。この海外旅行保険はSA参加学生用に特別に設計されたもので、大学が一括して加入するため保険料が割安になります。保険内容に関しては、1年次1月のガイダンス及び2月の最終ミーティングで説明します。

(1) 海外旅行保険

参加学生は、法政大学が指定する海外旅行保険に加入します。現地でのケガや病気のと看、あらかじめ指定された病院(キャッシュレス指定病院)で診療を受ければ、その場で自己負担することなく治療が受けられます。指定病院以外でも、領収書と診断書があれば、帰国後に一定の範囲内で保険金を受け取ることができます。ただし、保険対象の範囲は定められており、歯科治療は保険の対象外となります。詳しくは出発前の各種ガイダンスでお知らせします。

(2) 現地でのアクシデント対応

① 病気やケガの場合

現地で病気やケガをした際には、留学生サポートライン(24時間・日本語対応のフリーダイヤル)に直接電話すると、近くの病院を探してくれたり、適切なアドバイスを受けたりすることができます。

② トラブルの場合

トラブルを対処するのは、保証人や大学ではなく、学生の皆さん自身です。まずは自分で対策・解決策を考えて実行しましょう。ただし、状況によっては、留学生サポートライン(24時間・日本語対応のフリーダイヤル)や経済学部事務課SA担当が対応しますので、その場合は相談してください。

(3) 質問・相談窓口

経済学部事務課SA担当は、SA応募から帰国後の諸手続きまでの各種サポート(事前指導、SA奨学金申請、出発後の連絡内容伝達、課題連絡・提出や帰国後報告会の案内・実施、単位認定手続き等)を行います。SAに関して気になることがありましたら、経済学部窓口へお越しください。

なお、事務連絡はすべてWeb掲示板やメール、またはSAガイダンスの中で行いますのでご確認ください。



【11】 SA 以外の留学制度について

FOR MORE INFORMATION

経済学部ではここ数年、派遣留学や認定留学に行く学生が増えています。両制度において留学先大学での修得単位は、教授会で審議の上、経済学部の卒業所要単位として認定されます（経済学部は 30 単位が上限）。

また、グローバル教育センターでは、夏季休暇中と春季休暇中に、英語をはじめとした外国語の語学力の強化のため、2 週間から 4 週間程度の短期語学研修（設置科目）を実施しています。学部の定めにより、受講者に対して単位が認定される場合がありますので、認定科目、認定単位数については経済学部の事務課窓口へご相談ください。

以下に紹介する制度の詳細については、法政大学グローバル教育センターにお問い合わせください。

（1）派遣留学制度について

3 年次または 4 年次に、法政大学の海外協定大学へ半期または 1 年間の留学ができる制度です。また帰国後、留学先の大学で修得した単位は教授会で審議の上、本学の単位として認定されます。派遣留学生には、派遣先大学により 70 ～ 100 万円の奨学金が支給されるほか、留学先での授業料が全額免除されます。派遣留学生となるためには、グローバル教育センターで実施される選考試験に合格する必要があります。

（2）認定海外留学制度について

2 年生以上の学生が留学先大学（学位授与権を有する正規の高等教育機関）を自分で探して、その大学から入学許可を得て本学に申請をし、学部の許可を得て留学する制度です。留学期間中の学籍は「留学」となり、留学期間（半期または 1 年間）は修業年限に含まれます。また帰国後、留学先の大学で修得した単位は教授会で審議の上、本学の単位として認定されます。

（3）グローバル教育センター設置科目について

① 短期語学研修

夏季休暇中と春季休暇中に、英語、朝鮮語等の語学力の強化のため、2 ～ 4 週間程度実施する短期語学研修制度です。語学レベル、GPA などに関係なく留学が可能であり、個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初心者から上級者まで語学力の向上に活かすことができます。

② 国際ボランティア

夏季休暇中と春季休暇中の 1 ～ 4 週間程度、本学の協定校や NGO 団体等で行われるボランティア活動に参加し、それぞれの現場で必要としている活動支援を通じて、国際協力に対する理解を深めます。世界中のボランティアと一緒に働くことで、文化や言語の壁を越えた理解を深めながら、コミュニケーション能力を養い、グローバルに活躍する素地を育みます。プログラムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

③ 国際インターンシップ

夏季休暇中と春季休暇中の 1 ～ 4 週間程度、本学の協定校や海外企業、NGO 団体でのインターンシップを通じて、グローバル環境での働き方や企業文化の違いを学びます。将来的には、グローバル企業への就職など学生のキャリア形成支援につなげることを目的としています。プログラムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

注意：①短期語学研修、②国際ボランティア、③国際インターンシップの単位認定は、プログラムに参加した次学期（夏季参加の場合には当該年度秋学期、春季参加の場合には次年度春学期）に行うこととなりますので、4 年生の最終学期については、単位認定ができません。

発行 法政大学経済学部事務課
編集・印刷 ㈱P 栄文舎

自由を生き抜く実践知

Faculty of Economics

————— 問い合わせ先 —————

法政大学経済学部 Faculty of Economics

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 Tel.042-783-2503

窓口時間▶月～金 9:00～11:30・12:30～17:00 土 9:00～12:00

※SA 担当が不在の場合もあります。